

大山森林生態系保護地域におけるブナ幼樹の山引きについて

● 概要

平成4年頃から大山地域でブナの植栽活動を行っている「大山ブナを育成する会」から、保護林内におけるブナ幼樹の山引きについて相談があった。

ブナの凶作年が続いたこと等により、会が種から育てている苗のみでは数年後に植栽用苗木の不足が見込まれることから、署へ依頼があったもの。

採取した苗については、樹高1.5m程度まで育成後、大山地域内ナラ枯れ跡地等への植栽に使用予定。

保護林の設定主旨に沿う活動であることから、鳥取署において標準地調査を行い現地への影響が最小限となるよう配慮した上で、会が採取を行った。

● 採取の状況

採取日：令和3年6月12日

採取場所：大山森林生態系保護地域内
二ノ沢周辺
(鳥取県西伯郡大山町)

採取対象：樹高30～50cmの幼樹

採取方法：500m²の区域から500本採取
間引き率：1～2割程度

